

人と人をむすぶ、
人と世界をむすぶ

SIA

しーあ
VOL.131

滋賀県国際交流・協力情報誌



公益財団法人 滋賀県国際協会

Shiga Intercultural Association for Globalization

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20 ビアザ淡海2階

TEL:077-526-0931 FAX:077-510-0601

E-mail: info@s-i-a.or.jp URL: https://www.s-i-a.or.jp

Contents

① 特集

2025大阪・関西万博あれこれレポート

ミシガン州から友好親善使節団が来県されました！

④ SIA NEWS

- 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2025開催
- 第9回 国際交流・協力ライブチャンネル「ベリーズから“多文化共生”を考える ～子どもの学校現場を通して～」を開催
- 2025年度外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座を開催
- 未来のための進路ガイダンス2025を開催

⑤ 今、この人にInterview

キーウ国立建設建築大学教授
ガリーナ シェフツォバさん

⑥ おしえて世界のこと

救急が必要な時はどうしますか？

⑦ SIAメンバーズ

特集

2025大阪・関西万博 あれこれレポート

連日盛況のままに閉幕した大阪・関西万博。滋賀県も、姉妹友好交流のある州省を中心に、各パビリオン等で開催された様々な交流事業に関わりました。今回はその様子を県国際課からレポートしていただきます。

オーストリア〈ブルゲンラント州〉

食や芸術を通して 学生を中心に友好を深める！

滋賀県とオーストリアは、琵琶湖と国の「形が瓜二つ」であることをきっかけにつながりが生まれ、国内最大の湖を有するブルゲンラント州との交流を深めています。

AUSTRIA × BIWAKO



食

7月21日(月・祝)～31日(木)@オーストリアパビリオン レストラン

オーストリアパビリオン内のレストランで、世界最古のケーキレシピとして知られる「リンツァーケーキ」と、日本茶の発祥の地と言われる滋賀の「近江の茶」の特別なコラボメニューを期間限定で提供。SNSでも「美味しかった！」の声が寄せられました。



音楽

7月24日(木)@EXPOホール「滋賀県デイ」会場



ブルゲンラント州ヨーゼフハイドン私立音楽大学の学生が来日し、石山高校音楽科の生徒とともに、万博「滋賀県デイ」のステージで約1,900人の観客の前で演奏を披露しました。言葉が分からなくても、一緒にひとつの音楽を作り上げることで、参加した学生たちはお互いに良い刺激を受け合ったようで、本番のステージでは緊張しつつも楽しみながら共に演奏する学生達の姿がとても印象的でした。



交流の様子は、
YouTube(滋賀県公式)で
公開中です。
ぜひご覧ください！



オーストリア〈ブルゲンラント州〉

陶芸

7月24日(木)@EXPOホール「滋賀県デイ」会場

8月27日(水)～9月1日(月)@関西パビリオン多目的エリア「滋賀魅力体験ウィーク」会場

ブルゲンラント州陶芸学校セラミコ(Ceramico)と、信楽高校陶芸部の学生が、それぞれ相手地域をイメージして制作した陶芸作品を、万博会場で展示しました。

オンライン交流では、互いの地域の陶芸の特徴など様々な質問が飛び交い、お互いの地域に「行ってみたいくなった!」と生徒たちから声があがっていました。



中国〈湖南省〉

両県省の強い絆を再確認！ あらゆる分野で新たなつながりも

8月6日(水)～8日(金)@中国パビリオン



中国パビリオンでは、毎週各省・市がテーマウィーク／デーを開催し、中国各地の魅力を発信しました。8月6日～8日は、滋賀県と友好提携を結ぶ湖南省が「湖南ウィーク」を開催し、湖南省を映像で紹介したり、無形文化遺産の実演を行ったりしました。

初日の開幕式では、三日月知事からの挨拶をはじめ、滋賀県と湖南省の子どもたちが、それぞれの郷土の歌である「琵琶湖周航の歌」と「瀏陽河」を合唱し、両県省の絆を強く印象付けました。期間中には、友好自治体や環境産業、観光分野などで交流会が開催され、滋賀県からも多くの方が参加し、新たな関係を築くことができました。

また、湖南ウィークに先立ち、8月3日(日)に栗東芸術文化会館さきらで、さくらジュニアオーケストラと湖南青少年交響楽団の子どもたちが合同コンサートを開催しました。はるばる湖南省から来県してくれた約60人の子どもたちと交流する機会となり、大人顔負けの音色をホールに響かせました。

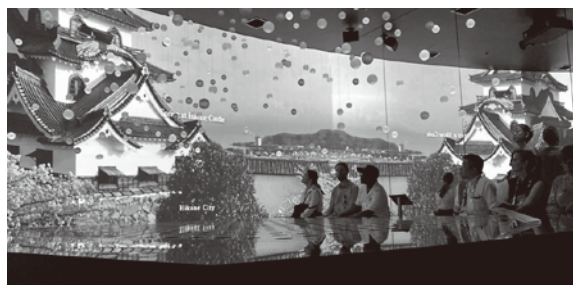


アメリカ〈ミシガン州〉

州知事来日! 万博会場で滋賀の魅力を紹介

9月6日(土)@関西パビリオン滋賀県ブース

9月に米国の姉妹州であるミシガン州のグレッチェン ホイットマー州知事が来日。滋賀県にお迎えして県議会議場でスピーチを行っていただきました。その翌日には州知事をはじめとする訪問団30名の皆さんに、関西パビリオンの滋賀県ブースを三日月知事の案内のもと視察いただきました。



滋賀県ブースでは光る球体と迫力のある映像で、琵琶湖を中心とする滋賀県の豊かな自然や史跡、各地の祭りなどが次々と紹介され、ミシガン州の皆さんに滋賀の魅力を知っていただく素晴らしい機会になりました。また、ブース入り口には、ホイットマー州知事が来日中に覚えられた「おおきに!」という言葉添えたサインをいただきました。

ブラジル〈リオグランデスール州〉

姉妹提携45周年を記念して両県州のつながりを発信！

9月26日(金)@ブラジルパビリオン 多目的ホール

滋賀県とブラジルのリオグランデスール州が姉妹提携を結び今年で45周年を迎えたことを記念して、ブラジルパビリオンで両県州のつながりを発信する姉妹県州交流イベントが開催されました。同州にはブラジル最大の湖であるパトス湖があることから、琵琶湖との湖のつながりを縁として1980年から姉妹交流をスタートし、それ以降、友好交流使節団の相互派遣や滋賀県からの駐在員の派遣、留学生や研修員の受入などを通じて、長年交流を深めてきました。



イベントでは、姉妹交流の歴史・同州の概要などを紹介するパネルの展示やビデオの上映が行われ、参加者には南米の伝統的なマテ茶と「近江の茶」が配布されました。中には、ブラジルパビリオンで滋賀県のイベントが開催されていることに驚かれている様子の方も。今回のイベントをきっかけに、両県州のつながりを多くの方に知っていただくことができました。

今回の万博をきっかけに、海外との姉妹友好交流がますます活発になることを期待しています。

ミシガン州から友好親善使節団が来県されました！

来県期間：2025年7月11日(金)～15日(火)（ホームステイ4泊5日）

1976年から続く滋賀県とミシガン州との友好親善使節団の交流は、ホームステイが交流の軸となります。今年は30名（10～70代）の使節団を滋賀県でお迎えしました。

歓迎式典はびわ湖大津館で開催しました。歴史的な雰囲気が漂う会場で、4泊5日を一緒に過ごすホストファミリーとの対面です。中には昨年度ミシガン州で滋賀県からの団員を受け入れてくださった方や、初来日という方も。これから始まるホームステイへのわくわくと緊張が伝わってきました。

ホームステイ期間中、団員はホストファミリーと過ごしたり、県内各市の姉妹都市交流事業に参加されたりします。滋賀県の名所を楽しむだけでなく、家庭料理を一緒に作ったり田園風景の中を散歩したり、ホームステイならではの経験を通して友好の絆を深めました。

送別会は八日市ロイヤルホテルで開催。団員・ホストファミリーの皆さんの和やかな笑顔から、今回の交流で育まれた友情を感じました。法被を着てみんなで盛り上がりながら江州音頭を踊り、最後は輪になって琵琶湖周航の歌を合唱し、全員で再会を誓い合いました。



日時 2025年8月5日(火) 13:00～16:30
会場 ピアザ淡海(大津市) **参加者** 53名
内容 分科会1「つながる・ひろく・まなびあう:ワークショップデザイン入門
 —学びを促進する場づくりのコツ&小ネタ集—」
 分科会2「『世界がもし100人の村だったら』第7版—未来思考—のために—」
 分科会3「言葉が通じない、どうしよう—非識字体験ゲームから考える—」
 分科会4「シミュレーションゲーム『湖の民・山の民・都会の民』
 —環境と暮らしのために、私ができること、みんなで一緒に出来ること—」
共催 JICA関西 **協力** 国際教育研究会 Glocal net Shiga

News 1 国際教育教材体験フェア in 滋賀 2025 開催

今年も国際教育の実践手法を体験する機会として、教材体験フェアを開催しました。分科会2では「世界がもし100人の村だったら」の初版発行から約20年が経ち、世界の姿がどのように変化し、これからどう変化していくのかを体験しました。また分科会4では、架空の湖周辺に暮らす住民となり、それぞれが抱える課題が他地域の課題ともつながっていることを知り、対話を通じてみんなにとってどうすれば良い状況になるかを目指しました。JICAが支援する「ニカラグア版うみのこ」事業についても紹介され、滋賀発の環境学習船がモデルとなり地球の反対側で環境教育の取組が進んでいることを、とても誇らしく感じました。



▲分科会3 教材「はじめてのお見舞い」を使ったワークの一場面

《参加者の感想(抜粋)》

「未来をよくするために自分に何ができるのかを考えて行動していけば、今からでも未来は変えられる!」という講師の言葉に、とても感動しました。

News 2 第9回 国際交流・協力ライブチャンネル「ベリーズから“多文化共生”を考える～子どもの学校現場を通して～」を開催

日時 2025年8月23日(土) 9:30～11:00 **参加者** 25名
ゲストスピーカー 杉中 綾子さん(JICA海外協力隊員) **協力** JICA関西

中米に位置する多民族国家ベリーズとオンラインでつなぎ、現地で環境教育隊員として活躍中の杉中さんから、文化・生活の様子や、学校現場の取組等を「多文化共生」の視点からお話いただきました。ベリーズでは、「多文化共生」という言葉を意識せずとも、いろんな民族・文化があるのがあたりまえで、子どもの頃から他者への理解や相手の文化に敬意をはらうことを重視する教育がされていること等を教えていただき、新たな気づきや学びが多くありました。

参加者からは「最初は『ベリーズってどこ?』だったが、美しい自然や多様な文化が交じり合う中で暮らす人々の心の豊かさ、穏やかさを垣間見た気がして『いつか行ってみたい!』と思える時間だった」「いろんな価値観をお互いに大事にすることは素晴らしいと思った」といった感想が寄せられました。次回もぜひご参加ください!



News 3 2025年度外国にルーツを持つ子どもへの日本語指導者養成講座Part17「子どものルーツを力に 多文化共生の視点から広げる学びの可能性～大阪市の実践事例に学ぶ多様な子どもたちの学びを支える教員のまなざし～」を開催

日時 2025年8月27日(水) 13:30～16:30 **会場** ピアザ淡海(大津市) **参加者** 38名
講師 大阪公立大学人権問題研究センター 特別研究員 IKUNO・多文化ふらっと 山田 文乃さん

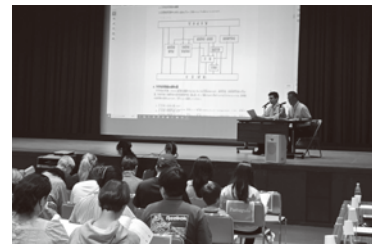
17回目となる今年度も、滋賀県教育委員会の外国人児童生徒教育担当者配置校連絡協議会の連携講座として開催し、教員をはじめ多くの関係者にご参加いただきました。まずは、大阪におけるニューカマー児童への日本語指導、その制度的枠組みや支援の流れについてご紹介いただき、県外の事例を学ぶ機会となりました。続いて、ワークショップを交えながら、学校現場でどのようにして多文化共生教育や在籍する子どもの国を知る学びにつなげていけるのか、具体的な事例を挙げながらご説明いただきました。参加者からは「初めてリアルに当事者の思いに立つことができた」などの感想が寄せられ、充実した学びの時間となりました。



News 4 日本語を母語としない子どもと保護者のための「未来のための進路ガイダンス2025」を開催(在留資格相談会も同時開催!)

日時 2025年10月12日(日) 13:30～16:00 **会場** 野洲文化小劇場(野洲市)
参加者 71名(7か国26組/子ども29名、保護者等40名、見学者等2名)
協力 大阪出入国在留管理局、滋賀県教育委員会事務局、滋賀県総合企画部国際課、彦根市国際協会、日本語学校京都あすかアカデミア

外国にルーツを持つ子どもとその保護者等を対象に、毎年10月に開催している進路ガイダンスを今年も行いました。今年は多様な国籍の方々にご参加いただき、「将来の進路を考えるのにとっても役立つ機会でした」とのお声を多数いただきました。ブラジルにルーツを持つ先輩ゲストからは、日本語を習得してから性格が積極的になり、多くのことが変わったという体験談や、外国にルーツを持つ子どもたちへの励ましの言葉をいただきました。個別相談の時間には、各ブースでじっくり相談する様子も見られました。今後も関係機関と連携し、子どもたちの未来を支える活動を続けていきます。



8か国語の資料
 「未来のための進路
 ガイダンス」は
 当協会のHPからも
 ダウンロードできます



<https://www.s-i-a.or.jp/index.php/projects/multicultural>

いんたびゅう 今、この人に Interview

ガリーナ シェフツォバさん

基本的に人間の心はどこでも同じ。
日本の戦後や震災後の復興を研究して今の戦争が
終わったあとの都市の再生に役立てたいですね。



■日本に興味を持ったきっかけは何だったのですか？

小学生の頃、松尾芭蕉の俳句を翻訳した本を読んだことです。短い言葉で17世紀の日本の風景や風、匂いまで表現されていて、今は存在しない、別の世界に簡単に行けるのが、すごく面白いと思ったのが日本との最初の出会いです。大学では建築を学びましたが、建築家になるより研究を続けたいと思っていたところ、キーウにある日本センターからの招待を受けて来日し、東京で学びました。そのとき京都や奈良を訪れて日本の庭に興味を持ち、日本で研究しようと思い、奨学金を受けて2003年に近畿大学に留学しました。そこで日本の木造建築について研究したあと、ウクライナに戻り、キーウ国立建設建築大学で木造建築の歴史について教えるようになりました。

■実際に来日された時の日本の印象はどうでしたか？

周りのみんなから日本は特別だと聞いていましたが、私は来日前に他の国もたくさん訪れていたの、そんなに大きな違いは感じませんでした。もちろん、住んでみるといろんな違いはありますが、基本的に人間の心はどこでも同じ、と私は思っています。大阪に3年、京都に1年、東京に1年半ほど住み、滋賀に初めて来たのは2014年ですが、この場所がすごく気に入りました。私は俳句も作っていますが、琵琶湖のそばならいつでも俳句が作れるのも好きなのところです。

■ウクライナと日本の木造建築について、どのような点に注目されたのですか？

それぞれの共通点に注目して研究しています。構造が違いますが外観は似ているし、雰囲気や祭りをする場所であるという点、建築の細部や内部構造もよく似ています。古い木と線香やロウソクが合わさった匂いも似ていますし、内部が吹き抜けになっていて高い空間があるところは、禅宗のお寺とも共通しています。実は、ウクライナの西部は地形や気候が日本ととてもよく似ています。家は校倉造で、屋根の作り方や形、使う道具にも似たところがあります。

■今年4月に、これまでの研究成果をまとめた本を出版されたんですね。その中では木造教会の魅力を解説されています。

ヨーロッパの教会というと石造がイメージされるかもしれませんが、ウクライナにも木造教会が多くあります。木造建築は、まさに森がないと造れません。木造教会はウクライナ以外の国にもありますが、ウクライナは他のヨーロッパの国と違って、今も新しい木造教会を造っています。ソ連時代に50%以上の木造教会が破壊されてしまいましたが、そんな大変な時期を乗り越えて、文化が生き残り発展が続いています。それはそのまま、民族の心です。また教会は建物だけでなく壁画やイコン（聖画像、聖像）、刺繍、タペストリー、彫刻など、美術と文化の中心でもあるんです。

■ロシアによるウクライナ侵攻で多くの建物が被害を受けていますが、木造教会についてはどのような状況でしょうか。

戦争が始まってすぐ、文化財の建物2棟が焼失しました。それ以外は今のところは被害は少ないです。ロシア軍は南部と東部から侵攻していますが、南部はそもそも木造教会があまり造られておらず、東部はたくさん木造教会があったのですがロシア革命のあとソ連によって多くが破壊されたため、少ししか残っていませんでした。ただ、この先はどうなるかわかりません。特に校倉造の建物は、直撃を受けなくても近くにミサイルが落ちたら振動で崩れてしまいます。そうした被害も出ています。

■研究のかたわら、陶芸にも親しまれているそうですね。陶芸を始めたきっかけは何だったのですか？

10年前の大津祭のとき、この辺りで陶芸のワークショップがあったので体験してみたのがスタートです。それが、今所属している「てんびん坊陶芸サークル」です。ここは、ただ陶芸をするだけではなく、みんなで一緒にどこかへ出かけたり、居場所として過ごせたりと、とても落ち着くコミュニティの1つで大好きです。本を出版したあとに三井寺で開いた写真展の準備でもみなさん協力してくれました。

■今後、どういう研究や活動を進めたいと考えておられますか。

日本は戦後どのように街が復興したか、また、東日本大震災のあと東北はどのように復興していったか、ということに興味を持ち、資料を集め現地調査に行きました。ウクライナも空爆で多くの都市が破壊され

●プロフィール●

ガリーナ シェフツォバさん／
ウクライナ出身 大津市在住
キーウ国立建設建築大学教授
ウクライナ国立芸術建築アカデミー大学院を修了。大阪外国語大学で日本語を学んだ後、近畿大学で日本の木造建築の研究を行う。2013年キーウ国立建設建築大学で建築学博士を取得し、2014年より現職。京都大学、東京大学の客員研究員も務めてきた。2023年よりウクライナ避難民として大津市に在住。日本とウクライナを行き来しながら研究を続けている。

主な著書／
『多様な世界 ウクライナ・日本木造建築』
(グラフィック出版、2006)
『紅色の陽』(ドニエプル出版、2023) (ガリーナさんが主宰するキーウ俳句クラブで戦争中の俳句を集めた句集)
『未来に残したい ウクライナの木造教会』
(エクスナレッジ、2025)



▲ウクライナと日本の木造建築の比較 (ガリーナさんの著書『多様な世界 ウクライナ・日本木造建築』より)。



ガリーナさんの陶芸作品。季節や風景からヒントを得て作り、同時に俳句を作ることもあるという。

◀陶芸サークル「てんびん坊」は会員が自由に使えるスペースがあり、ガリーナさんはそこで夕方から夜までゆっくり過ごすのが好きだという。



たので、戦争が終わったあと、この研究が役に立つと考えています。特に東北では人々がこの震災を忘れないため、津波の危険や被害を減らすための知恵をみんなに知らせることを大切にしています。こうしたことをテーマに論文を書いて、母国の再生に役立てたいですね。

おしえて世界のこと

テーマ

救急が必要な時は どうしますか？

今回は、急な病気やけがの時に、世界の国々ではどのように救急のサービスを利用するのか教えてもらいました。

世界中で救急医療を支える方々が日々活躍されていますが、国によって救急車の利用が有料であったり、民間や行政が運営していたりと仕組みも様々で、国ごとに抱える課題もあるようです。

■アメリカ

中嶋 景子さん

(滋賀県ミシガン州経済交流駐在員)

病気、けがの場合は、かかりつけ医に連絡しますが、救急の場合は、911にダイヤルし日本のように救急車を呼びます。救急車には公営と民営があり、公営の場合は最も近い公立病院に運ばれ、病院を指定したい場合は民営を利用します。

日本との大きな違いは、どちらも利用料金が患者負担で有料であること。州や地域によって料金は違うようですが、かなり高額だそうで、そのせいか、普段から、消防車に比べて救急車を目にすることはとても少ないです。



■ブラジル

ジエゴ デ ソウザさん(滋賀県国際交流員)

ブラジルには日本のような公的な救急車サービス、SAMU(サムー)があり、緊急時は192に電話します。原則無料ですが、地域により対応の質に差があります。交通事情で到着が遅れることもあるため、注意が必要です。

ブラジルでは医療に関係があることは救急車から手術まで、基本的に全部無料ですが、待ち時間は地方によっては結構長くなるかもしれません。一方、民間の救急もありますが、有料です。私立病院なども、高額のため一般的にはあまり使われません。

■ベリーズ

杉中 綾子さん(JICA海外協力隊員)

私が連休中に体調を崩した際、私立病院の救急窓口を訪れたことがあります。一般窓口よりも救急診療料が加算され割高でしたが、24時間対応で診てくれました。救急車を呼ぶ場合、一般的には無料ですが、病院での診療料はかかるそうです。

また、野犬に噛まれた場合は狂犬病の恐れがあるため、診察次第では24時間以内のワクチン接種が必要となります。しかしワクチン在庫がない場合、隣国のグアテマラへ行く必要があったり、高度な医療は国内で受けられないため病气によってはメキシコへ通院する人もいます。

■フィジー

栗津 佐和子さん(JICA海外協力隊員)

フィジーでは公立病院の利用は基本的に無料です。そのため、公立病院は患者であふれ待ち時間が長いことが多く、お金に余裕のある人は有料の民間の病院を利用します。私も一度だけ民間の病院を利用しましたが、待ち時間はたったの3分でした。

より緊急の場合は救急車を利用しますが、救急車の利用は公立も民間も無料です。ただし、台数が少なく、運転手は医療従事者でないためナースが同行しないと医療行為が行えないそうで、日本の救急とは大きく異なるようです。このような背景もあってか、一部の民間の病院が独自の有料救急医療サービスを周知する記事をSNSに投稿しています。良い救急医療サービスを受けたくて、なおかつその費用を払える人は有料の方を利用するのでしょうか。

私は幸い救急車を呼ぶような状況になったことがないので、引き続き健康に留意して救急車のお世話にならないようにしたいです。

■カンボジア

中村 幸さん(JICA海外協力隊員)

カンボジアでも緊急通報番号は日本と同じ119番です。119番に電話をするとどこから電話をしても首都の病院に繋がりと、どこで受診したらよいかのアドバイスをしてもらえます。救急車は交通事故と妊婦の対応以外は有料です。そのため病院で受診する患者は緊急時も自家用車やトゥクトゥク等で来院します。それぞれの病院独自の番号があるので、受診する病院をあらかじめ決めて電話番号をメモしておく、救急の時の対応がスムーズです。



■中国

西村 文彦さん

(滋賀県誘客経済促進センター(湖南省)所長)

日本との違いは、中国では、救急車を呼ぶには「119」ではなく「120」をダイヤルします。これは、火災「119」と救急(医療搬送)「120」が分かれているため、ちなみに警察は同じ「110」です。私が駐在している湖南省長沙市は人口1000万人を超える大都市なので、日本と同様に救急車による病院搬送が整備されていますが、地方では到着まで時間がかかることがあるそうです。

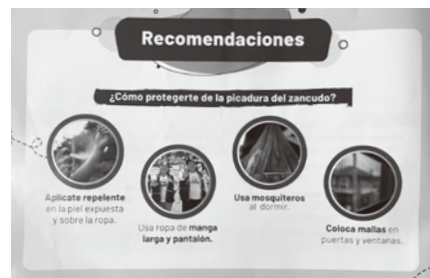
もう一つの大きな違いは、中国では救急車は有料であり、応急措置に係る費用の他、距離な

どで金額が変わります。また、症状などは中国語で伝える必要があることや中国の病院では基本的に先払いとなっていることにも注意が必要です。

■ペルー

武部 樹理さん(JICA海外協力隊員)

ペルーでは国民保険に加入している場合、公立病院の救急車は原則として無料で利用できます。一方、民間の救急は距離やサービスによって料金が異なります。地方では医療設備や物資が不足しているため、適切な治療を受けられない可能性もあります。日常生活では感染予防が重要で、特に狂犬病や蚊が媒介するデング熱への対策として肌の露出を避けた服装を心がけ、虫よけスプレーをこまめに使用するなど予防意識を持つことが大切です。



▲デング熱に関する自治体からの注意喚起のチラシ

■ラオス

和泉 優さん(JICA海外協力隊員)

ラオスには日本の「119」のような中央管制管理システムはなく、急病や事故が起きた際に、救急車を呼ぶ仕組みが十分に整備されていません。しかし、首都ビエンチャンでは「レスキュー1623」という民間のボランティア組織が緊急時の搬送を担っています。彼らは、交通事故や急病で助けを必要とする人々に無料で搬送サービスを提供していますが、設備や人員には限りがあり、十分な対応ができない場合もあります。彼らは無償のボランティアとして活動しており、地域社会を支える献身的な精神に心から感謝し、その活動がラオスにおいていかに重要であるかを実感しています。



▲ラオスレスキューとJICA看護隊員と一緒に心肺蘇生普及活動を行いました

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さまに会員相互の交流を目指して
会員特典を提供いたしております。特典利用の際は会員証を提示してください。

お店コーナー

神原税理士事務所

日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。

会員特典 相談料無料(何でも気軽に相談ください)

住所: 草津市南草津2丁目3-9
コミュニティ南草津ビルⅢ3F-B
(南草津駅西口より徒歩5分)
電話: 077-599-3480
(電話受付可)

URL: <http://www.kambara-office.com>

営業時間: 9:00~17:00

定休日: 土・日・祝



Siam Erawan

サームエラワン



「微笑みの国・タイ王国」を紹介するサームエラワンは、シェフのノイさんが作る本物のタイ料理(当店はタイ政府よりタイ・セレクト・シグネチャーの認証を得ています)のご提供や、タイ料理教室(出張可)など各種イベントを開催しています。ランチ・ディナーは夏期のみ営業です。公式ホームページから営業日やイベント内容をご確認いただけますのでご覧ください。(LINE・Facebook・Instagramあります)



会員特典 各種教室料金・飲食代(テイクアウトは除く)5%OFF

住所: 東近江市八日市町11-16

営業時間: ランチ 11:30~ 定休日: 日・月曜日

電話: 0748-22-0422 携帯: 090-1131-9344

URL: <https://www.siamerawan2558.com>



西洋料理 ロジェ・ソバージュ

クリスマス美食晩餐会

12月22日~25日 フリータイム

● Menu de Noël

ウニ風味のパパロアと海の幸のアンティボワーズ、コンソメスープ、オマール海老の白ワイン煮エストラゴン風味、お口直しのシャーベット、極上牛フィレ肉のステーキロゼンバージュ風、季節の取り合わせサラダ、自家製デザート各種、コーヒーまたは紅茶、ロゼンバージュ特製アペリティフ付

税込 6,600円



会員特典 ノンアルコールワイン or ソフトドリンク or ノンアルコールビールのいずれか、お一人様一杯サービス

他のサービスとの併用はできません。

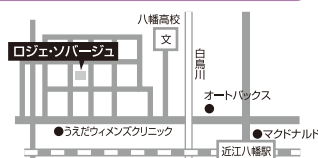
住所: 近江八幡市堀上町99-12

電話: 0748-36-8123

営業時間: ランチ 11:00~14:00

ディナー 17:00~21:00

定休日: 不定休



ミシガン州立大学連合日本センター

〈2025 英語プログラム受講生募集〉

【開講期間】2025年4月1日(火)~2026年3月18日(水)
全40回(各期10回)

【教室】ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町1435-86)
近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町454-4 Nビル)

【クラス】

- 一般コース: 初級から上級まで5コース
(1クラス60分・高校生以上対象)
- EBC: バイリンガル小中学生クラス

会員特典 受講料5%OFF(ご本人のみ)

※他割引と併用不可
※お申し込み時にSIA会員であることをお申し出ください。

〈こども英語教室2025も募集中〉

2025年4月1日(火)~2026年3月18日(水)

住所: 彦根市松原町1435-86

電話: 0749-26-3400 FAX: 0749-24-9356

URL: <https://www.jcmu.net>

E-mail: sifah@mx.bw.dream.jp



ドイツレストラン ヴュルツブルク WÜRZBURG



ドイツの冬といえば、熱々デザート「カイザーシュマーレン」! 当店自家製のグリューワインもごさいます。冷えた身体をポツと温めてくれるお料理とドリンクをご用意してお待ちしております♪

会員特典 現金でのお支払いで会計5%OFF
※クレジットカード・その他割引との併用不可

※ご本人含む6名様まで
※会員証のご提示をお願い致します。

住所: 大津市由美浜5番地

電話: 077-526-3500 FAX: 077-526-3539

E-mail: wurzburg@mx.bw.dream.jp

URL: <https://www.wurzburg.jp>

営業時間:

ランチ 11:00~15:30(ラストオーダー 14:30)

ディナー 17:00~21:00(ラストオーダー 20:00)

定休日: 不定休



地球雑貨アース・ヴィレッジ

東南アジアを中心に店主自らが現地へ赴いて仕入れた品々が所狭しと並び民族雑貨店。その土地ならではの自然素材の特徴を活かした手作り雑貨や伝統的な民族楽器など、味わい深い品物を手に取って、地球に息吹く様々な文化や人々の営みを感じてください。

◀ジャンベ・ディジュリドゥの取り扱い国内最大級! 初めての方には演奏方法などレクチャーいたします。

会員特典 SIA会員証提示で全商品5%OFF

住所: 〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦5096-31

TEL: 0748-46-2007

URL: <https://www.gaia-link.com/>

営業時間: 9:00~18:30

定休日: 毎週日曜日

※ホームページ内でも商品の購入が可能です。



SIAメンバーズ

トラベルコーナー

会員証を提示いただきますと、割引特典がご利用いただけます。
お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。

琵琶湖汽船
ミシガンクルーズ

びわ湖の南湖を周遊する、赤いパドルが目印の外輪船。湖国大津の玄関口・大津の他、事前予約制でのお浜観光港や柳が崎湖畔公園港にも寄港するので、三井寺や石山寺、比叡山などの観光と組み合わせでお手軽にびわ湖遊覧を楽しんでいただけます。船内では360度に広がる景色をデッキから望め、パーサーによる観光案内やショータイムもミシガンならではの楽しみ！充実したクルージングをお過ごしください！



会員 特典 ミシガンクルーズまたは南湖遊覧ポート(平日運航)乗船料
10%引(本人含む5名様迄) ※企画商品などは除く・他割引併用不可

※ミシガンクルーズは2025/12/8～12/26および2026/1/5～3/1の期間は土日祝のみ運航
※ピアノ力または、他の船舶が運航する場合がございます。運航ダイヤなど、詳しくはお問い合わせください。

住所：大津市浜大津5丁目1-1
電話：077-524-5000 FAX：077-524-7896
URL：<https://www.biwakokisen.co.jp>
営業時間：9:00～17:00(予約センター受付時間) 定休日：無休

東武トップツアーズ 滋賀支店

東武トップツアーズは、全都道府県に事業所を構え、地域の暮らしと豊かな社会に貢献することを目指しています。地域の元気は日本の元気。日本の元気は世界の元気。笑顔の飛び交う社会を作りたい。私たちは日本を元気にするために、地域のあふれる魅力を磨き、繋ぎます。旅行はそのための最大のツールですが、ゴールではありません。私たちが目指すのは、地域のチカラを最大限に引き出し、地域を日本を笑顔でいっぱいにする事。

旅行だけに留まらない、今の東武トップツアーズを知ってください。



会員 特典 国内パッケージツアー〈FEEL〉基本旅行代金の5%割引

住所：草津市若竹町7-10 KB21-2階
電話：050-9001-6304 FAX：077-565-0112
URL：<https://www.tobutoptours.co.jp/>
営業時間：9:30～17:30 定休日：土・日・祝

滋賀応援寄附(ふるさと納税)で滋賀県と
ミシガン州との国際交流を応援しませんか

ミシガン州と滋賀県は1968年に姉妹協定を締結し、草の根・教育・文化・経済などさまざまな分野で交流を進めています。その姉妹交流の象徴として1989年に彦根市に設立されたミシガン州立大学連合日本センターは、ミシガン州の大学生を対象とする日本語プログラムや、県民・大学・企業等を対象とする英語プログラム等を通じて、両県州の国際人材の育成に大きな役割を果たしています。

滋賀応援寄附(ふるさと納税)のメニューの1つである「滋賀県とミシガン州との国際交流を応援しよう」でいただいたご支援は、このミシガン州立大学連合日本センターでの国際交流の取組や施設整備等に活用されます。

皆様からのご支援をお待ちしています！



詳しくは、
以下の滋賀県ホームページを
ご確認ください。



<https://www.pref.shiga.lg.jp/kengai/kifu/337043.html>

SIA会員募集のご案内

当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- SIAメンバーズ各店での利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

会費

- 学生会員 1口年額 1,000円
- 個人会員 1口年額 2,000円
- 団体会員 1口年額 10,000円

会員情報

- [現在の会員数] 2025年10月末日現在
- 個人会員/198人 ●団体会員/85団体
- [新規入会] 2025年7月1日～10月31日
- 個人/1人

SIAサイトはこちら



ホームページ



Facebook